

化学物質のリスク評価結果と健康障害防止措置の導入に関する 意見交換会

厚生労働省では、労働現場で使われている様々な化学物質による健康障害を防止するため、平成18年度からリスク評価を行い、その結果を元に必要な措置を講じてきました。平成25年7月にまとめられたリスク評価では、「酸化チタン(ナノ粒子)」及び「リフラクトリーセラミックファイバー」については、今後詳細なリスク評価に進むこと、また、「ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト(別名DDVP)」及び「発がんのおそれのある有機溶剤」については、具体的な健康障害防止対策の検討が必要との報告がされ、これらの結果に基づき、化学物質による健康障害防止措置に係る検討会における検討がなされ、本年1月に報告書が取りまとめられたところです。

そこで、厚生労働省では、これらリスク評価の考え方、その結果と対応につきまして、行政検討会のメンバー、厚生労働省担当官と、労働現場において化学物質に係わる方々や広く一般の方々のご参集により意見交換を行う運びとなりました。

参加を希望される方は、裏面の「参加申込書」よりお申込みください。皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時

2014年2月26日(水) 13:30～16:30(開場 13:00)

◆場所

一般財団法人 日本教育会館 8階 第二会議室

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2

地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅(A1出口)下車徒歩3分

地下鉄都営三田線神保町駅(A1出口)下車徒歩5分

東京メトロ東西線竹橋駅(北の丸公園側出口)下車徒歩5分

◆対象者

労働現場において化学物質の取扱いに関わる方々を始めとする、広く一般の方々

◆定員 約130名程度

◆参加費 無料(厚生労働省 委託事業)

◆議事次第

・開会(13:30)

・基調講演(13:35～14:40)

「リスク評価の結果について(仮題)」

慶應義塾大学 医学部衛生学公衆衛生学教室 教授

大前 和幸

「リスク評価を踏まえた健康障害防止措置の導入について」

厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課

化学物質評価室 室長

角田 伸二

・意見交換(15:00～16:30)

【コーディネーター】 長崎大学 広報戦略本部(東京事務所) 准教授

堀口 逸子

【パネリスト】 基調講演者、厚生労働省担当官

◆申し込み方法

裏面の参加申込書に必要事項を記入の上、2月21日(金)までに下記申込先までFAXにてお申し込みください。追って受付票をFAXにてお送りいたします。ご不明な点はお手数ですが下記までお問い合わせください。

【申込先】テクノヒル株式会社 化学品管理部門

FAX宛先:03-5642-6145 お問い合わせTEL:03-5642-6144

